

風をあつめて



第74号(校長室だより)
平成27年10月30日
貝塚市立東山小学校

秋の深まりが感じられる今日この頃ですが、朝晩と日中の気温差が大きいので、体調をくずしている人も多いと思います。2学期も半分過ぎ、今は各学年とも校内音楽会に向けて練習を重ねています。11月15日は日曜参観日です。1時間目の人権学習の授業参観と3時間目からの音楽会を行いますので、ご参加よろしくお願いたします。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

○豊かな心を育みます ○教職員の資質向上 10/9

仲間って何？ 4年道徳研究授業

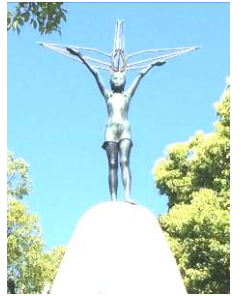


主人公たちは、運動会の学級対抗競技の「台風の目」を練習していますが、学級には運動が特別苦手な男の子がいて負けそうです。その子が指に包帯を巻いて登校してきたときに、クラスメイトは「体育を休んだほうがいいんじゃないか。」と仲間はずれにするような発言をします。同意を求められて返事に困る主人公。この授業で、本当の仲間って何だろうとみんなで考えました。事後討議会で、講師の畿央大学の島恒生教授から、「登場人物の心情読みに偏らず、友情・信頼などの道徳的価値について考える道徳にするための効果的なゆさぶりや板書の仕方」などを指導していただきました。

○今日、「同じ仲間だから」の学習をして、何か苦手でも、みんなも苦手なことはあるから、クラスのみんなでがんばれば、できることだってあるから、クラスのみんなで何かをするのは、大事だし、すてきなことだと思った。もし、台風の目で負けても、クラスのみんなであきらめずにできたらそれだけでいいと思った。

○豊かな心を育みます 10/14・15

6年 ヒロシマでの平和学習



6年生は、修学旅行で全校児童がおった千羽鶴を「原爆の子の像」にささげてきました。また、13歳で被爆された桑原千代子さんのお話を、聞かせていただきました。28日は、児童集会で全校児童に報告をし、日曜参観で、保護者の方に平和について学んできたことを報告します。

○桑原さんは、今年84歳になるやさしそうな女の人でした。その話はとても信じられないようなおそろしいものでした。「平和は、親や先生から与えられるものではない。平和は自分でつかみとるものです。」という桑原さんの言葉をしっかりと胸にきざみたいと思います。

○確かな学力の向上に努めます ○教職員の資質向上 10/27

わかりやすい発表の仕方は？ 2年研究授業

国語の学習で「あったらいいな こんなもの」を各自考えました。発表会でみんなにわかりやすく伝えるために、どんなコツがあるのかを考えました。みんなに聞こえる声の大きさや聞き取りやすい速さで話すことを、よい見本と悪い見本のDVDを見比べ、確認しました。子どもたちは声の大きさや速さだけでなく、挿絵の見せ方や動作の入れ方、表情などにも気づき、ペアで発表の練習をしました。事後討議会で、講師の日本大学篠ヶ谷圭太准教授から、「相手に伝わりやすい発表のポイントは何かだけでなく、なぜそれが大切かを理解させること。実際にできるようにするために、練習のときに自分の目標を友だちに伝えてからみてもらうとより効果的であること」を助言いただきました。



教育実習生 5年 10/5～11/2、教育実習生が5-1で実習をしています。

○毎日が驚きで、新しい発見や沢山の学びに喜びと焦りを感じています。子どもたちと一緒に学びながら、ともに成長したいです。まだまだ、未熟者ですが、精一杯頑張りたいです。



少年の主張大会 11月28日[土]13:30～コスモシアター[中ホール]

市内 11 校の小学生が自分たちの考えや思いを発表します。東山小学校は、六年生が、「めざせ！つげさん ゆるキャラトップ」を発表しますので、応援してください。

○確かな学力の向上に努めます

○豊かな心を育みます

全国学力・学習状況調査について

6年生を対象に全国学力・学習状況調査が4月に実施されました。その結果が、8月末に学校に送られ、6年生には、9月下旬に個人情報としてお渡ししました。今回は、本校の傾向や今後の取組についてお知らせします。

○国語・算数・理科

- ・3教科とも「主として知識に関する問題」「主として活用に関する問題」についての本校の傾向は、全国の傾向とほぼ同じである。
- ・国語では、漢字の読み書きの正答率は高かったが、適切な部分を正確に抜き出す「引用」の問題や、条件がある中で要約する問題に課題がみられた。
- ・算数では、見本文を用いて自分で説明文をつくる問題は例年よりできるようになっていたが、「20%増量された商品の内容量をもとに、増量前の内容量を求める」などの割合の問題に課題がみられた。
- ・理科では、水の三態変化や水の温まり方などの粒子に関する問題の正答率は全国より高かったが、顕微鏡についての知識技能や、植物に応じて適した栽培場所を選択する問題において知識を自然や日常生活に当てはめて考える力に課題がみられた。

○学習状況調査(児童アンケート)

- ・学習に関しては、「授業で友だちと話し合う活動がよくある」「授業のはじめにめあてが示されている」「家で学校の宿題をする。」「授業で扱うノートには学習の目標とまとめを書いている」「国語・算数の勉強は大切だ」の項目に肯定的な回答が多い。(9割～10割)
- ・自分に関しては、「学校のきまりを守っている」「物事を最後までやりとげてうれしかったことがある」「人の気持ちがわかる人間になりたい」などの項目に肯定的な回答が多い。(9割以上) 反面、「友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意だ」「地域の行事に参加している」の項目に肯定的な回答は約5割だった。

○今後の取組

学校全体で、授業規律・学力保障・「教えて考えさせる授業」などに取り組んできた成果が現れていると感じます。これらの取組を継続させながら、今後も、活用する力の強化や自尊感情の育成に力を入れていきたいと考えています。

- ①学び合い活動で自分の考えを自分の言葉で伝える活動を充実させます。
- ②国語の「教えて考えさせる授業」の研究を深め、単元のゴールを示した言語活動をします。
- ③算数や理科の授業で、生活に即した問題を増やしたり、「なぜそうなるのか」という根拠を使って説明させたりすることを大切にします。
- ④何事にも挑戦する心を育むため、学校教育活動全体を通して、人間関係づくりや自尊感情を高める取組を引き続き推進します。